



令和3年度がスタートして、早いもので2か月以上がたちました。新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種が始まったものの、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、菱山小学校は、今年度9名の新入学児童を迎え、全校児童44名、教職員20名（他校との兼務者を含みます。）でスタートをしました。

今年度も「地域版学校だより ひしやま」を通じて、地域の皆様に菱山小学校からの情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度の学校経営の基本的な方針について

この3月まで菱山小学校の校長先生をされておりました鈴木 敏弘先生がご退職をされました。後任として4月から校長として着任をいたしました岡 輝彦と申します。よろしくお願いいたします。鈴木校長から引き継いだことを踏まえ、今年度の学校経営方針の柱を次のように設定しました。

【令和3年度 学校経営の基本的な方針】

- ◆ 小規模校のよさを最大限に生かした地域と共にある学校づくり。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症感染防止対策に努め、学校教育活動の再開及び児童の学びの継続に努める。

◆ 「小規模校のよさを最大限生かした地域とともにある学校づくり」

「一人一人が主人公となる学校（児童の居場所づくり）」「わかる授業実践」、「地域の特色を生かした体験活動の充実」などを柱により一層魅力的な学校づくりを進めていきます。

また、本校は、平成30年から甲州市内で初のコミュニティー・スクールとなっています。地域の皆様に学校運営に参画していただくことで、地域とともに子どもたちを育てていくことを目指しています。

◆ 「新型コロナウイルス感染症感染防止対策に努め、学校教育活動の再開及び児童の学びの継続に努める」

可能な限り、休校措置をとらずに、子どもたちの学校生活を継続し、学びを保障していくためには、感染防止に努めることが第一優先となります。子どもたちから、学びの機会を奪わないためにも、引き続き感染防止対策に取り組んでまいりますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年度 入学式〈4月7日〉

4月7日に実施した入学式では9名の可愛い新入生を迎えました。昨年の4月、5月は新型コロナウイルス感染症により臨時休校をしていました。今年度は、新年度の始まりから無事に子どもたちを学校へ迎えることができ、職員同士で喜び合いました。1年生の入学から2か月以上がたち、学校にも慣れ、元気に学習に取り組んでいます。



緑の少年少女隊植林体験学習 〈4月27日〉

「菱山小緑の少年少女隊」の活動として、4月27日に5・6年生が菱山財産区の森林において植林活動を行いました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため中止となりましたが、今年度は、財産区の役員の皆様のご協力により感染症対策にご配慮いただき、参加をさせていただきました。子どもたちは、急斜面に戸惑いながらも財産区やライオンズクラブの方々に助けられながら、2時間ほどで300本のヒノキの苗を植えることができました。



子どもたちは、周りの成長したヒノキを見て、「どのくらい経つと、あのくらい大きくなるのかなあ…」とつぶやいていました。他の小学校にはない貴重な体験をさせていただきました。子どもたちにとって、この植林活動の思い出が、故郷である菱山地区を愛する気持ちにつながってくれることを願っています。



6年生 東山梨陸上記録会 〈5月18日〉

甲州市総合グラウンドにおいて、東山梨陸上記録会が開催されました。東山梨の小学校21校の6年生が集まり、陸上競技に汗を流しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催されませんでしたでしたが、今年は、時間を短縮し半日というスケジュールで行われました。



本校は、男子のリレーで5位に入賞するなど、全体的に優秀な成績でした。何より嬉しいのは、どの子も緊張しながらも精一杯頑張ることができたということです。順位も気にはなりますが、練習の時から自分と向き合い、緊張に打ち勝ち、陸上競技に取り組むことができた6年生に心から拍手を送ります。

大和小学校との交流 〈6年生:5月18日〉 〈3年生:6月17日〉



陸上記録会が行われた甲州市総合グラウンドまでは、大和小学校と菱山小学校が1台の庁用バス（市役所の公用バス）で送迎をしていただきました。そこで、6年生は陸上記録会が終わった後、昼食を大和小の6年生と一緒に食べました。簡単な自己紹介、昼食、遊具遊びを通じて、短い時間ではありましたが、お互いに交流を深めることができました。来年の4月からは、同じ中学校で学びます。交流を通して中学校進学に向けた子どもたちの期待が膨らむことに繋がればと思います。

また、6月17日には大和小と合同でスーパーの社会科見学を計画している3年生が一人一台端末を使用し、リモートで大和小の3年生と交流をしました。画面を通して、自己紹介や見学の際に質問する内容などを紹介していました。今後も大和小学校との交流を通じて、両校の子どもたちの学び合いの機会を増やしていくことができると考えています。



全校でプール清掃 ～2年ぶりのプール開設へ向けて～ 〈6月7日・8日〉



昨年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、体育の授業や夏休み中のプールを開設できませんでした。今年度は、感染症対策を講じたうえで、体育の授業のみプールを開設することとなりました。夏休み中のプール開設については、子どもたちの活動の場の確保や生活リズムを崩さない取組の一つとして何とか開設できないか検討をしましたが、感染リスクや人員確保等の問題から、甲州市内の小学校は行わないこととなりました。

さて、プールを開設するためには、プール清掃が必要です（当たり前ですが…）。この清掃には、思ったより時間がかかりました。プールの中はよいのですが、2年分の汚れがたまったプールサイドの清掃は大変でした。そんな中、子どもたちは、一生懸命、デッキブラシで磨いてくれました。中には、手の皮がむけそうになりながらも頑張っている子もいました。今シーズン、無事に水泳指導ができるよう安全対策、感染防止対策に努めていきたいと思えます。

救急蘇生法の訓練（職員）

プール開きを前に、職員で救急蘇生法の訓練を実施しました。塩山消防署から練習用の人形を2体お借りし、養護教諭が講師となって訓練をしました。新型コロナウイルス感染症を踏まえた蘇生法ということで、胸骨圧迫とAEDの使用を中心に学びました。また、万が一事故が発生した場合の職員の動きや処置する内容などを確認しました。



3年生・4年生 勝沼ぶどう郷駅の清掃 〈6月11日〉



菱山小緑の少年少女隊の活動として、毎年行っている勝沼ぶどう郷駅の清掃活動を、今年度も行いました。学校からホウキやチリトリを持って、徒歩で駅舎へ向かいました。駅に到着すると駅を管轄している塩山駅の駅長様が出迎えてくださり、ご挨拶をいただきました。

新型コロナウイルス感染症のため、観光客が少なく駅舎も例年よりは汚れていないとのことでした。

それでも、子どもたちがホウキで掃き始めると枯れ葉等のごみが出てきて「掃くと、案外ごみが出てくるね。」などと話しつつ、清掃に取り組みました。

子どもたちが地域に出ていき、自分たちも地域の役に立っていることを実感してくれることを期待し、その気持ちが将来、地域を担っていく人材の育成につながればと考えています。



お知らせ ～ 有価物回収について ～

本校のPTA活動及び緑の少年少女隊の活動として例年4月に行っている有価物回収について、今年度は12月4日（土）に予定をしています。詳細につきましては準備ができ次第、お知らせいたします。ご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施の有無も含め日程等を変更することがあります。ご承知おきください。

菱山小の植林活動が紹介されました

4月27日に実施した植林活動が、朝日新聞掲載されました。また、新聞掲載をきっかけに大阪にある進学情報などを扱っている民間企業「JS コーポレーション」のホームページでも紹介をされました。

令和3年4月28日
朝日新聞

JS コーポレーションの
ホームページ

日本の学校

トップ 専門学校 大

日本の学校 > 中学校を探す > 大

バックナンバー (211件公開中！)

活動内容から探す

防犯・安全

地域のために

福祉

災害援助

国際協力

環境

研究活動

親切的な行動

エリアから探す

北海道

東北

関東

甲信越

東海

北陸

近畿

中国・四国

九州・沖縄

その他の善きこととニュース

善きことをした

高校生達

あなたのまわりの善きことをした

小学生・中学生をご紹介します。

気になる学校を調べよう

小学校を探す

中学校を探す

お役立ち記事

教職員の皆様へ

私の幼少期

・アンパンマン作者 やな

せたかしさん

・名古屋大学 第13代総長

濱口 道成さん

・東北大学 総長 井上 明久

さん

・日本トイザらス株式会社

代表取締役会長 小寺 圭

さん

ふるさとの山 ヒノキ育て 甲州・勝沼 児童ら植林



急斜面にヒノキを植林する児童と
地元の住民 甲州市勝沼町菱山

甲州市勝沼町の森林で27日、菱山小学校の5、6年15人がヒノキを植林した。県緑化推進機構が進める社会奉仕活動、「緑の少年少女隊」の一環だ。

勝沼町は1993〜2009年、4回の山火事で計561畝の山林を失った。同小の児童は12年前から、ふるさとへの植林を続けている。

15人は朝、タクシーに分乗して、学校より標高が約700坪高い裏山を目指した。楽しんで急斜面に着き、絶景を楽しんだのもつかの間、

間、植林作業は厳しかった。急斜面は枯れ草で滑り、クワで30センチの穴を掘るうにも石にはね返された。児童会長の石崎聖那君（6年）は「子どもの力じゃ足りない。想像よりきつかった」。

地元財産区の役員ら20人が手伝い、約2時間で300本の苗を植えた。三森信次さん（7）は、孫の藍子さん（6年）と共同で作業した。「藍子たちが二十歳になったとき、成長した木を眺めて『ジイジと一緒に植えたな』と思い出して欲しい」と笑った。（河合博司）

善きことをした小学生・中学生達

世のため、人のために立派な行いをしている小学生・中学生達を紹介します。子供達の活躍を、ぜひご覧ください。

2008年から続く植樹活動。今年はヒノキ300本を植える

山梨県 菱山小学校 緑の少年少女隊のみなさん

この学校を詳しく知ろう

山梨県甲州市の市立菱山小学校は、1993年、緑豊かな地域に住む子どもとして、緑を愛し、緑を守り育てる心を養うことなどを目的に、全児童が所属する「菱山小学校緑の少年少女隊」を結成。以来、春と秋、地元勝沼町の玄関口、JR勝沼ぶどう郷駅の駅舎や駅周辺の清掃活動を始めた。さらに、県の緑化祭りなどへの参加や通学路を中心とした地域清掃活動、地域住民と花壇の植栽・管理を行う地域美化活動などにも積極的に取り組んでいる。



その中で2008年から実施しているのが、火事で焼失した山林への植樹活動だ。

勝沼町は319ヘクタールを焼失した1997年をはじめ、1993年から2009年までに4回も大きな山火事に見舞われ、今もその傷跡が残っている。児童たちは、例年、ヒノキの苗木を植樹すると共に、下草刈りなども行い、ふるさとの森の回復に努めている。

今年4月の活動には5、6年生15人が参加。植林する場所は山の急斜面で「想像よりきつかった」という子どもたちに、山を管理する菱山財産区の役員ら20人がサポート。約2時間で300本の苗を植えることができた。

30年後には植えたヒノキが20メートルほどに育つといい、児童たちは「自分たちが植えた木が成長し、緑いっぱいになるのが楽しみ」と目を輝かしていた。

同校児童の「緑の少年少女隊」の郷土への誇りと環境保全に高い意識を持った活動は、2012年度には環境大臣より地域環境美化功労者表彰を受けるなど、高い評価を得ている。

(2021年5月掲載)



紙面の都合上、文字が小さく読みにくいことをお許しください。
「善きことをした小中学生」で検索してください。菱山小学校の記事が閲覧できます。